

東風

HARUKAZE

令和3年11月15日発行

保護者の皆様、ご協力ありがとうございました

危険予測・危険回避



課題を明確にし、被害を最小限にする

11月13日（土）は、新宮町教育の日であると同時に、東中校区減災の日でもありました。今まで、小・中それぞれに行って引き渡し訓練を、初めて同日に実施しました。有事の際、幼稚園・保育園を含め、保護者の皆様に、安全かつスマーズに、お子様を引き渡さなければなりません。今回の保護者・教職員アンケートで、明らかになった課題をいくつかご紹介いたします。

- 学校入口の信号付近が大変混み合うため、結果として車の渋滞が起こりました。実際の有事の際に事故や大渋滞が起こらないか不安が残ります。（小学校保護者）
- 車が停められなくなる可能性が高いためドライブスルー方式で運転手は降りずに子どもだけ次々乗せて帰宅していく方法もあるかと思います。（小学校保護者）
- 車での来校を想定した訓練をしないことが問題だと思います。（小・中学校保護者）
- 実際の災害時は、今日ほどの対応（PTA役員さんの駐車場誘導等）は難しいと思います。私達保護者の協力が必須だと痛感しました。（中学校保護者）

保護者の皆様が有事を「自分事」としてお考えいただいていることに心より感謝申し上げます。被害を最小限にすること（減災）を目的に、「引き渡す」「学校に留める」「保護者・地域の皆様にも学校に避難いただく」等の判断も含め、校区学校安全実践委員会で検討を進めてまいります。



正面玄関：保護者の皆様は、距離をとり、整然と引き渡し（引き取り）を行っていただいています。もし大雨だったら…。保護者の皆様から頂いたご意見を基に、よりよい方法を検討してまいります。



教室：原則、中学校から、そして上學年から順に、校内一方通行で引き取っていただきます。

北駐車場：役員の皆さんのご協力をいただきました。渋滞・交通安全（事故等）の対策も必要です。